

(5) 保育者の数が少ないことの影響

「保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。」として、子どもに関する内容の 15 項目、保育士に関する内容の 20 項目について、「今よりも以下の文のようになると思われる」、「今と変わらないと思われる」、「むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる」の 3 つから選んでもらった。

①子どもに対する影響

子どもに関する内容の 15 項目について、1 歳児と 2 歳児の担当保育士が選んだ割合に対して、2 (担当) × 3 (選択肢) の χ^2 乗

検定を行い、有意であった項目だけを下位検定の結果と共に示したものが表 3-3-6 である (数値は表 3-1-7 や 2-7 の再掲)。

2 項目 (11 と 13) を除くすべての項目で、1 歳児の方が 2 歳児よりも、「逆の結果となる」が有意に多く、「変わらない」が有意に少なかった。「13. 子ども同士の間わりが多くなる」では、「変わらない」ではなく、「文のようになる」が有意に少なかった。「11. 怪我が多くなる」では「文のようになる」が有意に多く、「変わらない」が有意に少なかった。怪我に関しては、保育士の数が少なくなる方が多くなるよりも影響が大きいと考えられる。

表 3-3-6 保育者の数が今より少なくなることの子どもの行動に対する判断 (%)

子どもについて		文のよう	変わらな	逆の結果
		になる	い	となる
1. 食事を楽しむことができる	1 歳児	1.2	16.3	82.5
	2 歳児	1.2	25.1	73.7
4. 身体的活動がしやすい	1 歳児	1.6	18.2	80.2
	2 歳児	1.6	21.5	76.9
5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える	1 歳児	1.2	24.8	74.0
	2 歳児	1.8	28.7	69.6
8. 情緒が安定する	1 歳児	1.4	13.4	85.2
	2 歳児	1.5	18.1	80.4
9. 機嫌がよくなる	1 歳児	1.1	23.2	75.7
	2 歳児	1.2	29.6	69.2
10. 集中して遊ぶようになる	1 歳児	2.7	36.0	61.4
	2 歳児	2.6	41.1	56.3
11. 怪我が多くなる	1 歳児	69.2	11.2	19.5
	2 歳児	66.3	15.2	18.5
12. 子どもが疲れにくくなる	1 歳児	6.3	54.2	39.5
	2 歳児	5.8	59.0	35.2
13. 子ども同士のかかわりが多くなる	1 歳児	13.9	50.1	36.0
	2 歳児	16.4	51.6	32.0
14. 子どものかみつきが少なくなる	1 歳児	8.6	16.3	75.1
	2 歳児	7.6	22.6	69.8

②保育士に対する影響

保育士に関する内容の 20 項目について、1 歳児と 2 歳児の担当保育士が選んだ割合に対して、2（担当）× 3（選択肢）の χ^2 乗検定を行い、有意であった項目だけを下位検定の結果と共に示したものが表 3-3-7 である（数値は表 3-1-8 や 2-8 の再掲）。

すべての項目で、1 歳児の方が 2 歳児よりも、「逆の結果となる」が有意に多く、「変わらない」が有意に少なかった。保育士の数が少なくなることの保育士の行動への影響も、2 歳児より 1 歳児において、より顕著であると保育士はとらえているといえる。

表 3-3-7 保育者の数が今より少なくなることの保育士の行動に対する判断 (%)

保育士について		文のよう になる	変わらな い	逆の結果 となる
2. スキンシップをとりやすい	1 歳児	2.2	12.0	85.8
	2 歳児	2.8	15.0	82.2
3. 排泄の援助がしやすい	1 歳児	1.5	5.1	93.3
	2 歳児	1.5	9.5	89.0
4. 食事の援助がしやすい	1 歳児	1.5	4.6	94.0
	2 歳児	1.5	8.0	90.4
7. 着脱の援助がしやすい	1 歳児	1.4	6.3	92.4
	2 歳児	1.8	8.6	89.6
15. 保育士が疲れにくくなる	1 歳児	4.3	20.1	75.6
	2 歳児	4.2	25.3	70.5

(6) 担当保育者の適性人数

①調査時現在

1歳児担当と2歳児担当の保育士に、「担当の保育者の人数について、あなたはどのようにお考えですか。」として、「今の人数がちょうどよい」、「今より多いほうがよい」、「今より少ないほうがよい」の3つのうち1つを選んで、「具体的にどれくらい多いほうがよいですか。」として、「今 人のところあと 人」と人数を書いてもらった。その結果を比較したものが表3-3-9である(平均値と標準偏差は、表3-1-9と2-9の再掲)。「今」と「あと」についてそれぞれ1歳児と2歳児の差をt検定で調べたところ、いずれも有意な差ではなかった。

②4月頃

「4月頃の1歳児(2歳児)担当の保育者

の人数について、今(調査時)と比べてあなたはどのようにお考えですか。」として、「今の人数がちょうどよい」、「今より多いほうがよい」、「今より少ないほうがよい」の3つのうち1つを選んで、「今より多いほうがよい」を選んだ者に、「具体的にどれくらい多いほうがよいですか。」として、「今 人のところあと 人」と人数を書いてもらった。その結果を比較したものが表3-3-9である(平均値と標準偏差は、表3-1-10と2-10の再掲)。「今」と「あと」についてそれぞれ1歳児と2歳児の差をt検定で調べたところ、「今」と「あと」は共に、1歳児の方が2歳児よりも有意に多かった。

表3-3-8と表3-3-9を並べてみると、4月では年齢差が顕著あり、現在ではその差がなくなっている点が興味深い。4月には、特に1歳児は、保育者の人数がもう少し多い方がよいと判断されたといえる。

表3-3-8 今の保育者の数と欲しい人数の比較

		n	平均	標準偏差
1歳児	今	781	3.1	1.9
	あと	787	1.3	1.1
2歳児	今	502	3.0	1.8
	あと	500	1.3	1.0

表3-3-9 4月と比べて欲しい人数の比較

		n	平均	標準偏差
1歳児	今	1080	3.2	1.9
	あと	1093	1.5	1.1
2歳児	今	895	3.0	1.7
	あと	905	1.4	1.0

4. 公立園と私立園の比較

(1) クラス編成、保育室の構成

表3-4-1は、公私立園の別にみたクラス編成の割合を示したものである。2（公私立）×5（選択肢）の χ^2 検定を行ったところ、有意差がみられた（ $\chi^2(4) = 33.3$, $p < .01$ ）。表から明らかなように、「年齢ごとにクラスを設定している」は私立園で多く、「1、2歳児の混合クラスとなっている」は公立園で多かった。

表3-4-2は、公私立園の別にみた保育室の構成の割合を示したものである。2（公私立）×5（選択肢）の χ^2 検定を行ったところ、有意差がみられた（ $\chi^2(4) = 34.9$,

$p < .01$ ）。表から明らかなように「年齢ごとの保育室がある」は私立園で多く、「1、2歳児の混合の保育室がある」は公立園で多かった。

クラス編成、保育室の構成ともに、私立園では「年齢ごと」が多く、公立園では「1、2歳児の混合」が多かった。クラス編成や保育室の構成は、受け入れる子どもの数、雇用する保育士の数、さらに既設の保育室の数などに影響を受ける。私立園の方が年齢ごとにクラスを編成することに適した環境が整っているであろう。

表3-4-1 公私立園別にみたクラス編成 (%)

クラス編成	公立	私立
1. 年齢ごとにクラスを設定している	44.2	57.5
2. 0、1歳児の混合のクラスとなっている	14.8	12.7
3. 1、2歳児の混合のクラスとなっている	16.0	4.3
4. 0～2歳児まですべてが混合のクラスである	6.7	5.7
5. その他	18.4	19.8

表3-4-2 公私立園別にみた保育室の構成 (%)

クラス編成	公立	私立
1. 年齢ごとの保育室がある	42.2	53.0
2. 0、1歳児の混合の保育室がある	14.6	13.5
3. 1、2歳児の混合の保育室がある	18.5	5.1
4. 0～2歳児まですべての混合の保育室がある	7.0	7.0
5. その他	17.8	21.4

(2) 定員・保育士数・比率

表3-4-3は公私立園の別にみた0歳児、1歳児、2歳児の定員、保育士数、定員と保育士数の比率を示したものである。公立園の平均から私立園の平均を引いた差とt検定の結果も右に示した。2歳児では公立園と私立園で差がなかったが、0歳児と1歳児では有意差がみられた。0歳児では定員と保育士数に有意差がみられた。どちらも私立園の方が公立園よりも平均値がおき買った。1歳児では定員、保育士数、比率のすべてで有意差がみられた。定員と保育士数は私立園の方が私立園の方が公立園よりも平均値が大きかった。

比率は逆に公立園の方が私立園よりも高かった。

比率は保育士一人当たりの担当児童数を示すものである。この値が公立園の方が私立園よりも高いということは、公立園の方が私立園よりも、一人の保育士が多くの子どもを担当していることを示している。1歳頃の子どもには特定の保育士との応答的なかかわりが重要であることを考えると、保育士の数だけに注目した場合、子どもにとっては私立園の方が望ましい状態である可能性が高いと考えられる。

表3-4-3 公私立園別にみた定員・保育士数・比率

		公立			私立			検定	
		n	平均	標準偏差	n	平均	標準偏差	平均の差	有意差
0歳児	定員	125	6.3	3.7	187	7.4	4.3	-1.1	*
	保育士数	137	2.4	1.3	195	3.1	1.4	-0.7	**
	比率	122	2.7	1.2	182	2.4	1.2	0.3	
1歳児	定員	151	12.9	5.4	188	15.3	6.5	-2.4	**
	保育士数	166	2.9	1.8	198	3.6	1.7	-0.7	**
	比率	147	4.8	1.3	184	4.5	1.2	0.4	**
2歳児	定員	153	17.9	9.0	190	18.8	8.4	-1.0	
	保育士数	168	3.2	2.0	201	3.6	1.7	-0.4	
	比率	149	5.8	2.2	187	5.6	1.8	0.2	

(3) 業務にかかる時間

表3-4-4は、公私立園の別および年齢別にみた業務にかかる時間の平均と、その値に対して行った2(公私立)×2(年齢)の分散分析の結果を示したものである。日単位でみたところ、「保育の準備(教材準備や環境構成など)」と「記録」では、公私立の主効果が有意であり、私立園の保育士の方が公立園の保育士よりも、1日のうちでこの業務に多くの時間をかけていた。また「掃除などの環境整備」では公私立と年齢の主効果が有意であり、公私立の主効果では私立園の方が公立園よりも、年齢の主効果では1歳児の方が2歳児よりも、1日のうちでこの業務に多くの

時間をかけていた。週単位でみたところ、「担当クラスでの会議」では、公私立の主効果が有意であり、私立園の保育士の方が公立園の保育士よりも、週のうちでこの業務に多くの時間をかけていた。

業務実施の効率性を公立園と私立園で全く同じと仮定するならば、私立園の方が上に述べた4つの業務により多くの時間をかけているという結果からは、私立園の方がよりにくいに業務を遂行していると推測できる。しかしながらこの仮定は、本研究のデータからは検証が不可能なため、上記は推測の域を出ない。この仮定を評価することにつながる尺度の開発が今後の課題であろう。

表3-4-4 年齢別、公私立園別にみた業務にかかる平均時間とその検定結果

業務	年齢	公立	私立	検定結果
1日のうち				
保育の準備(教材準備や環境構成など)	1歳児	0.77	0.78	
	2歳児	0.77	0.86	
	平均	0.77	0.82	私立>公立
記録	1歳児	0.85	0.93	
	2歳児	0.84	0.88	
	平均	0.84	0.91	私立>公立
指導計画(日案など)の立案	1歳児	0.71	0.71	
	2歳児	0.70	0.74	
	平均	0.71	0.72	
掃除などの環境整備	1歳児	0.72	0.81	
	2歳児	0.69	0.78	1歳>2歳
	平均	0.70	0.80	私立>公立
1週間のうち				
特定のテーマに基づく会議	1歳児	1.15	1.12	
	2歳児	1.14	1.20	
	平均	1.15	1.16	
担当クラスでの会議	1歳児	1.26	1.33	
	2歳児	1.27	1.39	
	平均	1.26	1.36	私立>公立
園全体での会議	1歳児	1.40	1.42	
	2歳児	1.35	1.39	
	平均	1.38	1.41	

(4) 忙しい活動

「1日のうちで、あなたが特に「忙しい」と感じる活動はどれですか。3つ選んでください。」と尋ね、指定通り3つが選ばれている票だけを分析対象とした。分析対象は1歳児では公立保育園の保育士が828名、私立保育園の保育士が823名、2歳児では同じ順に813名と782名であった。各活動が選ばれた場合に1点、選ばれなかった場合を0点として平均値を算出した。この値を100倍したものが、被選択率となる。表3-4-5は、1歳児と2歳児の担当保育士が忙しいと判断した活動の被選択率を公私立園別に示したものである。2(年齢)×2(公私立)の分散分析の結果を表の最右列に示す。

公私立の主効果が有意であった活動は、8

つであった。このうち公立園の方が私立園よりも選ばれた割合が高かった活動は、「6. 食事(授乳を含む)の援助」、「9. 排泄の援助」の2つであった。反対に私立園の方が公立園よりも選ばれた割合が高かった活動は、「1. 登園(所)前の掃除と片付け」「2. 登園(所)時の子ども対応」「4. 午後の遊び」「14. 降園(所)時の子ども対応」「15. 降園(所)時の保護者対応」「16. 保育中の掃除・片付け」であった。私立園の保育士の方は、登園時や降園時が忙しいと感じているといえる。

公立園の方が選ばれた割合が高かった「6. 食事(授乳を含む)の援助」、「9. 排泄の援助」の2つの活動は、年齢の主効果でも、1歳児担当の保育士の方が2歳児担当の保育士よりも選んだ割合が高かったことは興味深い。

表3-4-5 年齢別、公私立園別にみた「忙しい活動」の選択率(%)

	1歳児		2歳児		分散分析結果
	公立	私立	公立	私立	
1. 登園(所)前の掃除・片づけ	1.2	2.6	1.5	2.4	私立>公立
2. 登園(所)時の子ども対応	15.1	19.2	23.9	25.7	2歳>1歳、私立>公立
3. 登園(所)時の保護者対応	8.6	7.8	10.7	11.1	2歳>1歳
4. 午後の遊び	11.1	10.6	13.9	15.0	2歳>1歳
5. 午後の遊び	1.1	4.1	1.7	3.2	私立>公立
6. 食事(授乳を含む)の援助	80.2	71.8	63.5	53.3	1歳>2歳、公立>私立
7. おやつへの援助	4.2	5.3	2.3	2.3	1歳>2歳
8. 午睡の援助	10.9	8.5	12.7	11.3	2歳>1歳
9. 排泄の援助	59.3	52.9	41.5	34.5	1歳>2歳、公立>私立
10. 着脱の援助	38.3	37.7	42.6	39.8	
11. 清潔(沐浴、清拭等)面の援助	10.5	8.7	5.4	7.5	公立でのみ1歳>2歳
12. 延長保育への引き継ぎ	1.9	2.9	3.6	4.5	2歳>1歳
13. 連絡帳の記入など記録	22.9	21.3	30.1	32.0	2歳>1歳
14. 降園(所)時の子ども対応	4.2	8.4	6.9	8.3	私立>公立
15. 降園(所)時の保護者対応	8.6	12.2	13.7	18.2	2歳>1歳、私立>公立
16. 保育中の掃除・片づけ	17.1	19.2	19.3	23.1	2歳>1歳、私立>公立
17. 降園(所)後の掃除・片づけ	1.4	1.6	2.3	2.6	
18. その他	3.3	5.3	4.6	5.2	

(5) 保育士不足を感じる業務

「1日のうちで、あなたが特に「忙しい」と感じる活動はどれですか。3つ選んでください。」と尋ねて、指定通り3つが選ばれている票だけを分析対象とした。分析票数は1歳児の公立園の保育士が774名、私立園の保育士が686名、2歳児は同じ順に686名と520名であった。表3-4-5と同じ分析を行った。すなわち、各活動が選ばれた場合に1点、選ばれなかった場合を0点として平均値を算出した(この値を100倍したものが、被選択率)。表3-4-6は、1歳児と2歳児の担当保育士が保育士不足を感じると判断した業務の被選択率を公私立園別に示したものである。2(年齢)×2(公私立)の分散分析の結果も表の最右列に示した。

10の業務で公私立園の主効果が有意であった。公立園の保育士の方が私立園の保育士よりも選んだ割合が高かった業務は、「午前の遊

び」「食事(授乳を含む)の援助」「おやつ
の援助」「午睡の援助」「排泄の援助」「着脱の援助」「清潔(沐浴、清拭等)面の援助」および「連絡帳の記入など記録」の8つであった。一方、私立園の保育士の方が公立園の保育士よりも選んだ割合が高かった業務は、「降園(所)時の子ども対応」と「降園(所)時の保護者対応」の2つであった。

公立園の保育士が選んだ割合が高かった業務は、養護面のかかわりのすべてを含んでいた。公立園の保育士はこれらの業務をよりでいねいにする必要があると考えているのであろう。一方、私立園の保育士が選んだ割合が高かった業務は、降園(所)時のかかわりであった。私立園の保育士はこれあの業務を充実させたいと望んでいると思われる。

表3-4-6 年齢別、公私立園別にみた保育士不足を感じる業務の選択率(%)

	1歳児		2歳児		分散分析結果
	公立	私立	公立	私立	
1. 登園(所)前の掃除・片づけ	3.1	3.9	3.8	3.5	
2. 登園(所)時の子ども対応	23.0	25.9	29.7	27.7	2歳>1歳
3. 登園(所)時の保護者対応	16.4	13.6	19.2	18.1	2歳>1歳
4. 午前の遊び	30.7	27.6	32.8	24.2	公立>私立
5. 午後の遊び	12.9	15.6	9.2	9.6	1歳>2歳
6. 食事(授乳を含む)の援助	74.4	62.0	57.9	43.3	1歳>2歳、公立>私立
7. おやつ の援助	10.6	8.9	6.3	3.7	1歳>2歳、公立>私立
8. 午睡の援助	23.0	14.7	20.7	16.7	公立>私立
9. 排泄の援助	57.2	48.7	43.9	30.0	1歳>2歳、公立>私立
10. 着脱の援助	47.3	42.4	43.6	34.0	1歳>2歳、公立>私立
11. 清潔(沐浴、清拭等)面の援助	20.4	18.4	18.1	13.3	1歳>2歳、公立>私立
12. 延長保育への引き継ぎ	5.9	7.7	8.0	6.0	
13. 連絡帳の記入など記録	19.0	14.3	24.3	19.6	2歳>1歳、公立>私立
14. 降園(所)時の子ども対応	12.7	18.1	14.1	18.3	私立>公立
15. 降園(所)時の保護者対応	15.9	18.5	21.4	25.0	2歳>1歳、私立>公立
16. 保育中の掃除・片づけ	28.3	25.5	26.1	24.0	
17. 降園(所)後の掃除・片づけ	5.4	5.0	9.0	6.0	2歳>1歳
18. その他	6.5	5.7	9.8	9.0	2歳>1歳

(6) 保育士の数の多いことの影響

「保育者の数が今より多くなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。」として、子どもに関する内容の15項目、保育士に関する内容の20項目について、「今よりも以下の文のようになると思われる」、「今と変わらないと思われる」、「むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる」の3つから選んでもらった。

①子どもに対する影響

表3-4-7は、子どもの行動に関する項目について、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。2(年齢)×2(公私立)×3(選択肢)の χ^2 検定の結果が有意であったところには、年齢ごとに調べた下位検定の結果を示した。最後の「20. 保育士へのかかわりを多く求める」という項目では、公私立園の差はなかった。「11. 怪我が多くなる」「13. 子ども同士のかかわりが多くなる」と「14. 子どものかみつきが少なくなる」の3項目では、1歳児では差がなく、2歳児でのみ有意差がみられた。「11. 怪我が多くなる」では、「変わらない」が選ばれた割合が、私立園の方が公立園よりも大きかった。「13. 子ども同士のかかわりが多くなる」と「14. 子どものかみつきが少なくなる」では、「文のようになる」が選ばれた割合が、公立園の方が私立園よりも大きかった。

他の16項目では、1歳児と2歳児はともに、「文のようになる」が選ばれた割合は、公立園の方が私立園よりも大きく、「変わらない」が選ばれた割合は、逆に私立園の方が公立園よりも大きかった。

多くの項目で「変わらない」は私立園の保育士、「文のようになる」は公立園の保育士が、より多く選んだことは興味深い。公立園の保育士の方が私立園の保育士よりも、保育士の数が多くなれば、子どもの行動によい影響が

あると感じているようである。ここで表3-4-3を振り返りたい。特に1歳児では子どもの数と保育士の数の比率は、公立園(4.8:1)の方が私立園(4.5:1)よりも大きかった。公立園の保育士は、現行の4.8:1よりも、保育士の数を多くすることによって、より適切な保育ができると考えているのであろう。

怪我の数、子ども同士のかかわりの量、子どものかみつきの数では、公立園と私立園の差は、特に2歳児で顕著であった。1歳児では年齢が低いため、それほど大きな差が出ないのかも知れない。しかしながらこの結果も、現行の児童福祉施設最低基準には疑問を投げかける。すなわち、「1歳児と2歳児は、ともに子どもの数:保育士の数の比が6:1」という基準に疑問を投げかける。1歳児と2歳児では発達の異なる点を考慮した基準作りが必要とすることが示唆される。

②保育士に対する影響

表3-4-8は、保育士の行動に関する項目について、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。表3-4-7と同様に、2(年齢)×2(公私立)×3(選択肢)の χ^2 検定の結果が有意であったところには、年齢ごとに調べた下位検定の結果を示した。「14. 保育士のストレスがたまらない」と「15. 保育士が疲れにくくなる」では1歳児で有意差はなく、「18. 保育の準備がしやすい」では2歳児で有意差はなかったが、他はすべての項目で1歳児と2歳児でともに有意差がみられた。数値を見ると、いずれの項目でも「文のようになる」が選ばれた割合は、公立園の方が私立園よりも大きく、「変わらない」が選ばれた割合は、逆に私立園の方が公立園よりも大きかった。

これらの結果は、公立園の保育士の方が私立園の保育士よりも、保育士の数が今より多

くなると、保育がしやすくなると答えている 私立園よりも、人的環境、特に保育士の数と割合が高いことを示している。公立園の方が という点では苦しい現状があるのかも知れない。

表3-4-7 年齢別、公私立園別にみた保育士の数が増えることの子どもに対する影響 (%)

子どもについて		文のよう になる	変わらな い	逆の結果 となる	検定結果	
1. 食事を楽しむことができる	1歳児	公立	75.2	22.6	2.2	**
	私立	66.8	29.5	3.6	**	
2歳児	公立	74.8	23.2	2.1	**	
	私立	69.1	28.0	3.0	**	
2. 睡眠など適切な休息をとれる	1歳児	公立	48.9	49.8	1.3	**
	私立	38.3	61.1	0.6	**	
2歳児	公立	52.3	46.3	1.4	**	
	私立	39.1	59.9	1.1	**	
3. 清潔を保つ行動が増える	1歳児	公立	71.7	27.4	1.0	**
	私立	63.5	35.7	0.8	**	
2歳児	公立	71.8	27.8	0.4	**	
	私立	65.1	34.3	0.7	**	
4. 身体的活動がしやすい	1歳児	公立	78.1	20.5	1.4	**
	私立	70.6	28.2	1.3	**	
2歳児	公立	73.4	25.6	1.0	**	
	私立	64.6	34.2	1.2	**	
5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える	1歳児	公立	77.5	21.4	1.1	**
	私立	70.5	28.8	0.8	**	
2歳児	公立	72.0	27.3	0.8	**	
	私立	64.2	34.8	1.0	**	
6. 言葉(喃語を含む)を発しやすくなる	1歳児	公立	60.7	37.8	1.5	*
	私立	55.4	43.7	1.0	*	
2歳児	公立	61.6	37.5	1.0	**	
	私立	52.7	46.5	0.8	**	
7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ	1歳児	公立	59.6	39.3	1.1	**
	私立	52.0	47.6	0.4	**	
2歳児	公立	60.5	38.5	1.0	**	
	私立	50.1	49.2	0.8	**	
8. 情緒が安定する	1歳児	公立	81.8	16.7	1.5	**
	私立	74.0	23.9	2.0	**	
2歳児	公立	78.5	19.9	1.6	**	
	私立	69.4	29.6	1.0	**	
9. 機嫌がよくなる	1歳児	公立	64.5	34.0	1.5	**
	私立	53.4	45.6	1.1	**	
2歳児	公立	62.4	36.8	0.9	**	
	私立	46.0	52.7	1.3	**	
10. 集中して遊ぶようになる	1歳児	公立	56.2	41.1	2.7	**
	私立	43.0	54.1	3.0	**	
2歳児	公立	52.5	44.9	2.6	**	
	私立	36.0	60.6	3.4	**	
11. 怪我が多くなる	1歳児	公立	3.9	20.8	75.3	
	私立	5.2	24.2	70.6		
2歳児	公立	4.7	21.7	73.6	**	
	私立	2.8	27.6	69.6	**	
12. 子どもが疲れにくくなる	1歳児	公立	18.2	75.0	6.8	**
	私立	11.5	81.8	6.8	**	
2歳児	公立	16.1	78.2	5.7	**	
	私立	8.3	85.4	6.4	**	
13. 子ども同士のかかわりが多くなる	1歳児	公立	30.2	58.3	11.5	
	私立	26.2	62.1	11.7		
2歳児	公立	30.8	58.0	11.2	**	
	私立	22.0	61.0	16.9	**	
14. 子どものかみつきが少なくなる	1歳児	公立	73.6	22.9	3.5	
	私立	68.7	27.7	3.6		
2歳児	公立	69.2	28.1	2.7	**	
	私立	62.0	34.0	4.1	**	
15. 保育士への関わりを多く求める	1歳児	公立	53.3	39.3	7.4	
	私立	50.7	42.8	6.5		
2歳児	公立	51.0	42.8	6.2		
	私立	52.4	42.1	5.5		

* p<.05, ** p<.01

表3-4-8 年齢別、公私立園別にみた保育士の数が増えることの保育士に対する影響 (%)

保育士について		文のよう になる	変わら ない	逆の結果 となる	検定結果
1. 健康状態の把握がしやすい	1歳児	公立 75.2	私立 22.6	2.2	**
	2歳児	公立 66.8	私立 29.5	3.6	*
2. スキンシップをとりやすい	1歳児	公立 74.8	私立 23.2	2.1	**
	2歳児	公立 69.1	私立 28.0	3.0	**
3. 排泄の援助がしやすい	1歳児	公立 88.4	私立 9.8	1.8	**
	2歳児	公立 79.0	私立 19.2	1.8	**
4. 食事の援助がしやすい	1歳児	公立 85.9	私立 12.1	2.1	**
	2歳児	公立 78.0	私立 20.2	1.8	**
5. 睡眠の援助がしやすい	1歳児	公立 92.2	私立 6.4	1.4	**
	2歳児	公立 87.7	私立 10.7	1.6	**
6. 清潔の援助がしやすい	1歳児	公立 87.1	私立 12.2	0.6	**
	2歳児	公立 80.4	私立 18.6	1.0	**
7. 着脱の援助がしやすい	1歳児	公立 94.1	私立 4.5	1.4	**
	2歳児	公立 88.3	私立 10.2	1.6	**
8. 遊びの援助がしやすい	1歳児	公立 87.3	私立 11.6	1.2	**
	2歳児	公立 81.3	私立 17.9	0.8	**
9. 言葉かけがしやすい	1歳児	公立 81.9	私立 16.9	1.3	**
	2歳児	公立 71.6	私立 27.3	1.2	**
10. 保育士同士の会話がしやすい	1歳児	公立 78.7	私立 19.4	1.8	**
	2歳児	公立 72.6	私立 26.6	0.9	**
11. 温度湿度の管理がしやすい	1歳児	公立 86.5	私立 12.4	1.1	**
	2歳児	公立 79.9	私立 19.0	1.1	**
12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1歳児	公立 83.5	私立 16.0	0.5	*
	2歳児	公立 78.5	私立 20.7	0.8	**
13. 安全管理がしやすい	1歳児	公立 90.9	私立 7.9	1.3	**
	2歳児	公立 86.0	私立 12.8	1.3	**
14. 保育士のストレスがたまらない	1歳児	公立 87.6	私立 11.3	1.1	**
	2歳児	公立 81.3	私立 17.5	1.2	**
15. 保育士が疲れにくくなる	1歳児	公立 86.6	私立 11.9	1.5	**
	2歳児	公立 81.4	私立 17.4	1.2	**
16. 保育士の口調が柔らかくなる	1歳児	公立 83.4	私立 15.5	1.2	**
	2歳児	公立 76.4	私立 23.0	0.7	**
17. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 66.7	私立 31.1	2.2	**
	2歳児	公立 55.2	私立 43.7	1.2	**
18. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 68.4	私立 29.3	2.4	**
	2歳児	公立 54.0	私立 44.5	1.5	**
19. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 26.4	私立 65.3	8.3	*
	2歳児	公立 20.6	私立 69.8	9.6	**
20. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 27.9	私立 62.3	9.7	**
	2歳児	公立 19.3	私立 69.7	11.0	**
21. 温度湿度の管理がしやすい	1歳児	公立 34.1	私立 64.5	1.4	**
	2歳児	公立 26.0	私立 72.9	1.1	**
22. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1歳児	公立 34.2	私立 64.5	1.3	**
	2歳児	公立 24.0	私立 75.2	0.8	**
23. 安全管理がしやすい	1歳児	公立 71.8	私立 27.0	1.2	**
	2歳児	公立 64.2	私立 34.5	1.3	**
24. 保育士の口調が柔らかくなる	1歳児	公立 70.4	私立 28.2	1.4	**
	2歳児	公立 63.3	私立 36.2	0.4	**
25. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 83.5	私立 15.6	0.9	*
	2歳児	公立 78.8	私立 19.6	1.6	*
26. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 83.8	私立 14.9	1.3	*
	2歳児	公立 79.3	私立 19.9	0.8	**
27. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 41.5	私立 51.1	7.4	**
	2歳児	公立 38.5	私立 53.9	7.6	**
28. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 42.0	私立 49.7	8.3	**
	2歳児	公立 30.3	私立 62.0	7.7	**
29. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 53.8	私立 42.9	3.2	**
	2歳児	公立 48.4	私立 47.6	4.1	**
30. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 52.2	私立 43.3	4.6	**
	2歳児	公立 41.6	私立 54.6	3.9	**
31. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 44.9	私立 53.6	1.5	*
	2歳児	公立 39.2	私立 59.7	1.1	**
32. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 44.4	私立 53.7	1.8	**
	2歳児	公立 32.1	私立 66.5	1.4	**
33. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 61.3	私立 35.4	3.4	*
	2歳児	公立 55.5	私立 41.6	2.9	**
34. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 66.5	私立 30.4	3.1	**
	2歳児	公立 54.9	私立 42.5	2.6	**
35. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 88.2	私立 10.9	1.0	**
	2歳児	公立 81.2	私立 17.8	1.1	**
36. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 87.2	私立 11.8	1.1	**
	2歳児	公立 84.4	私立 14.9	0.8	**
37. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 49.7	私立 46.9	3.3	**
	2歳児	公立 40.2	私立 56.8	3.0	**
38. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 49.1	私立 47.8	3.0	**
	2歳児	公立 39.1	私立 58.7	2.2	**
39. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 68.4	私立 30.7	1.0	**
	2歳児	公立 54.6	私立 44.3	1.1	**
40. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 66.9	私立 32.3	0.9	**
	2歳児	公立 56.6	私立 42.7	0.8	**

* p<.05, ** p<.01

(7) 保育士の数の少ないことの影響

「保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。」として、子どもに関する内容の15項目、保育士に関する内容の20項目について、「今よりも以下の文のようになると思われる」、「今と変わらないと思われる」、「むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる」の3つから選んでもらった。

①子どもに対する影響

表3-4-9は子どもの行動に関する項目について、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。2（年齢）×2（公私立）×3（選択肢）の χ^2 検定の結果が有意であったところには、年齢ごとに調べた下位検定の結果を示した。すべての項目で有意差がみられた。数値を見ると、2つの例外を除くすべての項目で、1歳児、2歳児ともに、公立園の方が私立園よりも、「逆の結果となる」が選ばれた割合が高く、「変わらない」が少なかった。一方、「11. 怪我が多くなる」と「14. 子どものかみつきが少なくなる」では、1歳児において、公立園の方が私立園よりも、「変わらない」が少なく、「逆の結果となる」ではそれほど大きな差はなかった。

公立園の方が私立園よりも、「変わらない」が選ばれた割合が少ないという結果は、公立園の方が私立園よりも保育士の数が少なくなることの子どもの行動に対する影響に敏感であることを示唆している。特に公立園で、人的資源が乏しいことの現れかも知れない。

②保育士に対する影響

表3-4-10は、保育士の行動に関する項目について、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。2（年齢）×2（公私立）×3（選択肢）の χ^2 検定の結果が有意であったところには、年齢ごとに調べた下位検定の結果を示した。「7. 衣服の着脱がしやすい」では有意差はなかった。数値を見ると、「逆の結果となる」がほぼ9割以上であり、天井効果によって差がなかったことがうかがえる。

「3. 排泄の援助がしやすい」「4. 食事の援助がしやすい」および「13. 安全管理をしやすい」では1歳児では有意な差がなく、2歳児でのみ有意な差が見られた。数値を見ると、「3. 排泄の援助がしやすい」と「4. 食事の援助がしやすい」については、天井効果がうかがえた。

他のすべての項目では、1歳児と2歳児はともに、公立園の差が有意であった。数値を見ると、公立園の方が私立園よりも、「逆の結果となる」が多く、「変わらない」が少なかった。

子どもに対する影響と同様に、公立園の方が私立園よりも、「変わらない」が選ばれた割合が少ないという結果は、公立園の方が私立園よりも保育士の数が少なくなることの保育士の行動に対する影響に敏感であることを示唆している。仕事のしやすさに対して、公立園の保育士の方が私立園の保育士よりも大きく考えているのかも知れない。

表3-4-9 年齢別、公私立園別にみた保育士の数が少なくなることの子どもに対する影響(%)

子どもについて		文のよう になる			変わらな い		逆の結果 となる		検定結果
1. 食事を楽しむことができる	1歳児	公立	1.1	13.1	85.9	**			
		私立	1.3	19.5	79.2				
	2歳児	公立	1.0	18.7	80.3				
		私立	1.3	30.7	68.0	**			
2. 睡眠など適切な休息をとれる	1歳児	公立	1.1	26.3	72.6	**			
		私立	1.3	39.3	59.4				
	2歳児	公立	1.4	26.6	71.9				
		私立	0.9	43.4	55.7	**			
3. 清潔を保つ行動が増える	1歳児	公立	1.4	16.3	82.3	**			
		私立	1.2	24.5	74.3				
	2歳児	公立	1.3	16.5	82.2				
		私立	1.2	27.9	70.9	**			
4. 身体的活動がしやすい	1歳児	公立	1.4	13.8	84.8	**			
		私立	1.8	22.7	75.5				
	2歳児	公立	1.4	15.6	83.0				
		私立	1.6	27.0	71.5	**			
5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える	1歳児	公立	1.2	18.4	80.4	**			
		私立	1.1	31.0	68.0				
	2歳児	公立	2.0	22.2	75.8				
		私立	1.3	34.4	64.3	**			
6. 言葉(喃語を含む)を発しやすくなる	1歳児	公立	1.4	31.2	67.3	**			
		私立	1.4	42.5	56.1				
	2歳児	公立	1.5	31.3	67.2				
		私立	1.0	47.1	51.9	**			
7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ	1歳児	公立	1.1	39.3	59.7	**			
		私立	1.3	51.2	47.5				
	2歳児	公立	2.1	36.2	61.7				
		私立	2.0	53.7	44.3	**			
8. 情緒が安定する	1歳児	公立	1.2	9.1	89.7	**			
		私立	1.5	17.6	80.9				
	2歳児	公立	1.6	13.5	84.9				
		私立	1.2	22.2	76.6	**			
9. 機嫌がよくなる	1歳児	公立	1.0	17.3	81.7	**			
		私立	1.2	28.8	70.0				
	2歳児	公立	1.5	21.7	76.8				
		私立	0.8	36.8	62.5	**			
10. 集中して遊ぶようになる	1歳児	公立	1.8	30.0	68.3	**			
		私立	3.7	42.5	53.9				
	2歳児	公立	2.4	32.3	65.2				
		私立	2.6	48.4	49.1	**			
11. 怪我が多くなる	1歳児	公立	70.2	9.1	20.7	*			
		私立	68.8	13.1	18.1				
	2歳児	公立	66.2	13.1	20.7				
		私立	66.7	16.8	16.5	*			
12. 子どもが疲れにくくなる	1歳児	公立	6.0	46.9	47.1	**			
		私立	6.8	61.3	32.0				
	2歳児	公立	5.4	52.2	42.4				
		私立	5.9	65.4	28.7	**			
13. 子ども同士のかかわりが多くなる	1歳児	公立	12.1	46.6	41.3	**			
		私立	15.9	53.8	30.3				
	2歳児	公立	12.5	47.8	39.7				
		私立	19.6	55.5	24.9	**			
14. 子どものかみつきが少なくなる	1歳児	公立	10.0	13.5	76.5	**			
		私立	7.3	18.7	74.0				
	2歳児	公立	7.3	18.7	74.0				
		私立	7.8	26.1	66.1	**			
15. 保育士への関わりを多く求める	1歳児	公立	45.4	24.0	30.6	**			
		私立	40.9	33.1	26.0				
	2歳児	公立	42.9	26.6	30.5				
		私立	40.0	35.0	25.0	**			

* p<.05, ** p<.01

表3-4-10 年齢別、公私立園別にみた保育士の数が少なくなることの保育士に対する影響(%)

保育士について		文のよう になる	変わらない	逆の結果 となる	検定結果
1. 健康状態の把握がしやすい	1歳児	公立 1.9	私立 16.5	81.6	**
	2歳児	公立 2.4	私立 23.2	74.5	**
2. スキンシップをとりやすい	1歳児	公立 2.5	私立 15.6	81.9	**
	2歳児	公立 3.0	私立 23.6	73.4	**
3. 排泄の援助がしやすい	1歳児	公立 2.1	私立 8.0	89.9	**
	2歳児	公立 2.4	私立 15.7	81.9	**
4. 食事の援助がしやすい	1歳児	公立 2.9	私立 10.8	86.4	**
	2歳児	公立 2.7	私立 19.0	78.3	**
5. 睡眠の援助がしやすい	1歳児	公立 1.2	私立 4.7	94.1	**
	2歳児	公立 1.8	私立 5.6	92.6	**
6. 清潔の援助がしやすい	1歳児	公立 1.6	私立 7.0	91.3	**
	2歳児	公立 1.2	私立 12.0	86.8	**
7. 着脱の援助がしやすい	1歳児	公立 1.2	私立 3.8	95.0	**
	2歳児	公立 1.7	私立 5.2	93.1	**
8. 遊びの援助がしやすい	1歳児	公立 1.4	私立 6.4	92.2	*
	2歳児	公立 1.6	私立 9.7	88.8	**
9. 言葉かけがしやすい	1歳児	公立 1.1	私立 10.2	88.7	**
	2歳児	公立 1.3	私立 17.6	81.1	**
10. 保育士同士の会話がしやすい	1歳児	公立 1.4	私立 11.4	87.2	**
	2歳児	公立 1.4	私立 18.9	79.7	**
11. 温度湿度の管理がしやすい	1歳児	公立 1.1	私立 8.6	90.3	**
	2歳児	公立 1.3	私立 13.3	85.4	**
12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1歳児	公立 1.4	私立 9.8	88.8	*
	2歳児	公立 1.6	私立 14.2	84.2	**
13. 安全管理をしやすい	1歳児	公立 1.2	私立 5.3	93.5	**
	2歳児	公立 1.5	私立 7.3	91.2	**
14. 保育士のストレスがたまらない	1歳児	公立 1.8	私立 6.9	91.3	**
	2歳児	公立 1.8	私立 9.8	88.4	**
15. 保育士が疲れにくくなる	1歳児	公立 1.2	私立 8.3	90.5	**
	2歳児	公立 1.6	私立 12.9	85.5	**
16. 保育士の口調が柔らかくなる	1歳児	公立 1.8	私立 9.3	88.9	**
	2歳児	公立 1.3	私立 16.0	82.7	**
17. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 2.1	私立 19.9	78.0	**
	2歳児	公立 2.4	私立 31.1	66.6	**
18. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 2.8	私立 20.4	76.9	**
	2歳児	公立 1.9	私立 33.0	65.1	**
19. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 4.1	私立 46.4	49.5	**
	2歳児	公立 6.1	私立 54.7	39.3	**
20. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 5.5	私立 43.4	51.1	**
	2歳児	公立 6.2	私立 54.9	38.9	**
21. 温度湿度の管理がしやすい	1歳児	公立 1.2	私立 47.8	51.0	**
	2歳児	公立 1.0	私立 59.4	39.7	**
22. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1歳児	公立 1.3	私立 49.8	48.9	**
	2歳児	公立 0.6	私立 59.3	40.2	**
23. 安全管理をしやすい	1歳児	公立 1.0	私立 21.8	77.2	**
	2歳児	公立 1.5	私立 29.1	69.4	**
24. 保育士の口調が柔らかくなる	1歳児	公立 1.3	私立 20.8	77.9	**
	2歳児	公立 1.1	私立 30.4	68.5	**
25. 保育士が疲れにくくなる	1歳児	公立 1.4	私立 13.2	85.3	**
	2歳児	公立 2.0	私立 14.6	83.4	**
26. 保育士のストレスがたまらない	1歳児	公立 1.7	私立 12.6	85.7	**
	2歳児	公立 1.5	私立 17.7	80.9	*
27. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 4.6	私立 25.2	70.2	**
	2歳児	公立 3.5	私立 33.8	62.8	**
28. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 4.0	私立 26.8	69.3	**
	2歳児	公立 5.1	私立 37.2	57.6	**
29. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 4.6	私立 16.2	79.2	**
	2歳児	公立 4.0	私立 23.8	72.2	**
30. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 3.9	私立 21.6	74.5	**
	2歳児	公立 4.3	私立 28.5	67.2	**
31. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 1.9	私立 29.4	68.8	**
	2歳児	公立 1.6	私立 39.2	59.2	**
32. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 2.2	私立 30.8	67.0	**
	2歳児	公立 1.8	私立 44.3	53.9	**
33. 保護者への対応がしやすい	1歳児	公立 2.9	私立 21.6	75.5	**
	2歳児	公立 1.8	私立 28.5	69.7	**
34. 保育の準備がしやすい	1歳児	公立 3.0	私立 20.6	76.5	**
	2歳児	公立 1.6	私立 29.3	69.1	**
35. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 2.0	私立 10.0	88.0	**
	2歳児	公立 1.8	私立 15.9	82.2	**
36. 指導計画の立案がしやすい	1歳児	公立 1.9	私立 9.7	88.4	**
	2歳児	公立 1.7	私立 16.8	81.6	**
37. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 2.7	私立 32.5	64.9	**
	2歳児	公立 1.9	私立 44.2	53.9	**
38. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 2.5	私立 33.0	64.4	**
	2歳児	公立 2.7	私立 44.8	52.6	**
39. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 1.7	私立 19.3	79.0	**
	2歳児	公立 1.1	私立 31.8	67.1	**
40. 子育て支援の業務がしやすい	1歳児	公立 1.8	私立 21.9	76.4	**
	2歳児	公立 1.9	私立 32.7	65.4	**

* p<.05, ** p<.01

(8) 担当保育士の適性人数

①調査時現在

調査時点の担当の保育者の人数についての希望を年齢別、公私立園別に示したものが、表3-4-11である。2(年齢)×2(公私立)×3(選択肢)の χ^2 検定を行ったところ有意差がみられたので、年齢ごとに下位検定を行ったところ、いずれも有意差があり、私立園の保育士は公立園の保育士の方よりも、「今の人数がちょうどよい」を選んだ者が多く、「今より多い方がよい」を選んだ者は少なかった。

表3-4-12は、「今より多い方がよい」

を選んだ者に、「具体的にどれぐらい多いほうがいいですか。」として、「今____人のところあと____人」と人数を書いてもらった結果を示したものである。2(年齢)×2(公私立)の分散分析の結果、「今」では公私立の主効果が有意であり、私立園の方が公立園よりも人数が多かった。「あと」では交互作用が有意であり、1歳児では私立園の方が公立園よりも人数が有意に多かったが、2歳児では差はなかった。また私立園では1歳児の方が2歳児よりも人数が有意に多かったが、公立園では有意差はなかった。

表3-4-11 調査時点の保育者の人数に対する考え方(%)

		今の人数 がちょうど よい	今より多 いほうが よい	今より少 ないほう がよい	検定結果
1歳児	公立	49.6	49.5	1.0	**
	私立	61.1	38.2	0.8	
2歳児	公立	63.3	35.1	1.7	**
	私立	77.7	21.4	0.9	

表3-4-12 今の保育者の数と欲しい人数

		今			あと		
		平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	N
1歳児	公立	3.0	0.1	429	1.3	0.1	429
	私立	3.7	0.1	350	1.5	0.1	352
2歳児	公立	3.0	0.1	319	1.4	0.1	315
	私立	3.2	0.2	192	1.3	0.1	191

②4月頃

「4月頃の1歳児（2歳児）担当の保育者の人数」に対する希望を年齢別、公私立園別に示したものが表3-4-13である。2（年齢）×2（公私立）×3（選択肢）の χ^2 検定を行ったところ有意差がみられたので、年齢ごとに下位検定を行ったところ、いずれも有意差があり、私立園の保育士は公立園の保育士の方よりも、「今の人数がちょうどよい」を選んだ者が多く、「今より多い方がよい」を選んだ者は少なかった。

「今より多い方がよい」を選んだ者に、「具

体的にどれくらい多いほうがいいですか。」として、「今 _____ 人のところあと _____ 人」と人数を書いてもらった。その結果を比較したものが表3-4-14である。「今」と「あと」についてそれぞれ2（年齢）×2（公私立）の分散分析を行ったところ、「今」では年齢と公私立の主効果がともに有意であり、1歳児の方が2歳児よりも、私立園の方が公立園よりも人数が多かった。「あと」では年齢の主効果のみが有意であり、1歳児の方が2歳児よりも有意に多かった。

表3-4-13 4月頃の保育者の人数に対する考え方（%）

		今の人数 がちょうど よい	今より多 いほうが よい	今より少 ないほう がよい	検定結果
1歳児	公立	32.5	66.6	0.9	**
	私立	43.0	56.4	0.5	
2歳児	公立	41.4	57.7	0.9	**
	私立	56.2	43.0	0.8	

表3-4-14 4月と比べて欲しい人数の比較

		今			あと		
		平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	N
1歳児	公立	3.0	0.1	565	1.5	0.0	573
	私立	3.5	0.1	497	1.6	0.0	501
2歳児	公立	2.9	0.1	510	1.4	0.0	515
	私立	3.2	0.1	382	1.4	0.1	385

研究協力者との小委員会（記録）

平成 21 年 3 月 15 日

13:30~17:00

白梅学園大学 民秋研究室

研究協力者	横浜市立芦穂崎保育園	早川悦子園長
	福井市鹿苑第二保育園	吉村喜久子園長
	広島市湯来南保育園	政本まゆみ園長

- ・年齢ごとにクラス編成されているのは、全体で 50% 弱であったが、クラス編成の様子によって保育士の職務が異なり、仕事の忙しさはかなり違っている。

—1 歳児と 2 歳児の比較について—

- ・保護者の対応としては、2 歳児のほうが忙しい傾向がある。また、クラスの子どもの人数も大きな要因となる。少人数のクラスと多くの子どもがいるクラスとでは結果が違わないか。
- ・1 歳児と 2 歳児は、子ども 6 : 保育士 1 の配置することになっているが、保育をする上では、援助を多く必要とする 1 歳児により配慮することが多い。実際に、人数を増やすといっても、なかなか増やせない現状がある。

—担当保育士の適性人数について—

- ・今回のアンケート調査では、調査時期が 1 2 月であり、4 月を振り返り設問をしている。比較することはむずかしい面もあるが、4 月の方が多くの保育士を必要としているのは現場からみれば明らかである。たとえば、入園当初は、一日中子どもを抱いていなければならないこともあり、保育士一人は対応できる子どもの数は限られてくる。

—公立園と私立園との比較について—

- ・公立園は 1、2 歳児の混合に場合は、子どもの人数が少ないことが多い。
- ・4 月の保育士の人数の必要性は、現場からも、その通りであると思う。
- ・J 市は、4 月は定員に加えて 15% しか割り増しせず、5 月になれば 25% まで増やしている。そのため、臨時職員をプラスするなどして対応している。
- ・春先から、夏に向けては、もう少し保育士が多いとよいとの希望がある。それは、子どもの保育以外に、保護者などの対応に時間がかかることや、保育者の育ちとの関係（新人保育士等）がある。

—実地調査の結果について—

- ・保育士の仕事を細かく記録することにより、保育士の職務を明らかにすることになり、それが今後の研修にも役立ち価値がある。このことにより、保育の質の向上につながるのではないか。

「保育環境調査—保育の人的環境に関する調査—」
アンケート調査についてのお願い

平成20年11月28日
白梅学園大学 民秋 言

皆さまにおかれましては、ますますご健勝のもと、保育にお励みのことと存じます。

さて、私たちは、この度、厚生労働省から「少子化社会における保育環境のあり方に関する総合研究」（平成20年度厚生科学研究政策科学総合研究事業《政策科学推進研究事業》H19-政策-一般-017）の委託を受けました。

つきましては、研究の一環として下記のとおりアンケート調査を実施させて頂きたいと存じます。ご多忙の折り恐縮ですが研究主旨をご理解のうえ、ご協力賜りますようお願いいたします。

記

研究主旨

本研究は、保育環境のあり方を明らかにするとともに、保育の人的環境のあるべき姿について提言を行おうとするものです。

アンケートの目的

上記主旨にそってアンケート調査を実施し、保育所における人的環境の実態を明らかにするとともに、保育士の数の違いが保育活動や子どもの育ちにどのような影響を与えるのかを知るための資料とします。

回収と集計

当方所定の封筒にて回収し、内容はコンピュータにより統計処理いたします。
園名、個人名など個別的には公表はいたしません。

主任研究者 民秋 言（白梅学園大学）
西村重稀（仁愛女子短期大学）
高野 陽（東洋英和女学院大学）
吉岡眞知子（東大阪大学）
成田朋子（名古屋柳城短期大学）
河野利津子（比治山大学短期大学部）
清水益治（神戸女子大学）
佐藤直之（京都女子大学短期大学部）
千葉武夫（聖和大学短期大学部）
森 俊之（仁愛大学）
川喜田昌代（玉成保育専門学校）
鈴木岩雄（名古屋芸術大学）
水上彰子（富山福祉短期大学）

平成 20 年 11 月 28 日

各 位

厚生科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））に関する協力依頼

厚生労働省
雇用均等・児童家庭局保育課

時下、ますますご清祥のことと存じます。

この度、厚生労働省平成 19 年度厚生科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））「少子化社会における保育環境のあり方に関する総合的研究（H19-政策-一般-017）」を白梅学園大学民秋言教授に委託し、研究を実施することとなりました。

つきましては、当該研究事業の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

アンケート用紙の配付・回収方法について

このアンケートは、0、1、2歳児の保育の人的環境についてお尋ねするものです。

調査表の構成について

この調査票は、**A**、**B-1**、**B-2**、**C-1**、**C-2** の5部構成になっています。

Aは、保育所に在籍する1、2歳児全般のことについてお尋ねします。

B-1と、**B-2**は、1歳児用です。

C-1と、**C-2**は、2歳児用です。

調査用紙の内容と記入者について

Aは、園全体のことをお尋ねします。園長または主任に方がご記入ください。（1枚）

B-1、**C-1**は、1歳と2歳の全般についての質問です。主任か、各部屋の責任者の方にご記入をお願いします。（各1枚）

B-2、**C-2**は、1歳と2歳実施されている保育についての質問です。クラスリーダー、サブを含めてそれぞれ3人ずつご記入ください。（各3枚）

年齢ごとではなく混合でクラス編成されている場合は、1歳児や2歳児のいるクラス2つを選んで回答して下さい。

回収について

記入されたアンケート用紙を回収用封筒に封入のうえ、同封の返信用封筒にてお送りください。

返送の期日

お忙しいところ恐縮ですが、統計処理の都合上、平成20年12月19日（金）までに返送してください。